

2007年 激変する環境への対応と 競争力強化によるAIBAの再飛躍へ

理事長 澤田 敬之

2006年6月、第4回定時会員総会において私はAIBAの現状とその置かれている環境に大きな変化が生じて来たことを会員の皆様に認識頂くべく訴えました。敢えて“AIBAの危機”と言う大げさな表現でした。それは先ずAIBA会員数の減少傾向であります。加えて「貿易アドバイザー」制度の生みの親であるJETROの独立行政法人化に伴いAIBAをめぐる内外の環境変化であります。

会員数の減少はこれまで会員数の右肩上がり前提にしてきたAIBAの財政基盤の再検討をせまられることになり、当日この論議に多くの会員の関心が寄せられ時間を大幅に延長し皆さんのご理解を得ました。

1) AIBA新事業「受験対策セミナー」昨年9月実施

貿易アドバイザー試験合格者の絶対数の増大とAIBA新事業としての成功を目指した本セミナーは結果として昨年合格者の約60%弱が本セミナー受講者であり、合格者倍増にも繋がり先ずは当初の目的が果たせと思われず。セミナー実施要領については今後更なる実施方策の検討を要しますが、首都圏のみならず地方支部との連携による展開を図る必要もあります。

又今後とも引き続き受験者の増加、会員のAIBA活動への参加勧奨により退会者の引き留め等に意を注いで行かねばなりません。

2) 財政健全化への一助としての経費削減策

小さなアイデアの提案を生かした積み重ねが功を奏しつつあります。

事務局賃借スペースの一部賃貸開始(18年12月)

「AIBAだより」の巻末広告ページの新設(42号より)

本来は会員及びグループ活動のPRが主目的であったものを広告収入としてささやかな事業収入の一部として活用することにもなりました。

3) 会費値上げによる基礎収入の確保

発足以来10年間会員向けサービスの向上は年毎に向上しておりますが会費は据え置きのままでした。この際会員の自助努力として基本収入の増大を目指すために会員ご協力を得て本年新会計年度から実施します。

4) アドバイザー試験制度の変更と今後のAIBAの変革

十数年前、国の貿易黒字削減策のひとつとして創設された本制度もその後の時代要請の変化に伴い輸出入を含む貿易アドバイザー制度に変化し今日に至っています。

更にJETROの独立行政法人への移行に伴い、昨年末JETROの任務が真に担うべきものに特化すべきことを求められ、本試験事業について民間の実施主体への移管の可能性を調査し移管の処置を講ずることが決められたようです。来るべき日に備えて民間の実施主体として候補となりうるようAIBAとして足腰の強化即ち組織強化、特に財務体質の強化等の対策を急がねばなりません。今後ともJETROからはJETRO事業の受け手として最も頼り甲斐のある存在であり続けることは当然ですが、加えてJETRO以外にも、AIBA事業の新たな売込み先を求めて提案型営業に事業推進の方向転換を図ることが求められてきます。

景気はいざなぎを超えて絶好調と言われており、貿易アドバイザーの活躍分野も益々拡大し存在意義も高まってゆくものと予想されます。然しながら実情は“天気晴朗なれども波高し”でありJETRO事業でのAIBA優先を期待することは許されず、実態としては案件ごとに競争が厳しくなって来ております。競争は大いに望むところであり競争のあるところに新しいアイデアが生まれ実力が磨かれてゆくものです。

5) 中間法人AIBAの新公益法人制度への対応

昨年「公益法人制度改革関連整備法」が施行され、更に本年中に細則が出来ますと、現在ある中間法人を含む各種公益法人は現在のままでは存続できず、新しい制度への切り替え対応が迫られることになり、早急に検討開始が要請されます。

時代の要請に応えて実務経験をベースにした「貿易の

Contents (目次)

P1...	2007年 激変する環境への対応と 競争力強化によるAIBAの再飛躍へ	澤田 敬之
P2...	中国国際家具見本市出展支援奮戦記 ネットによるエクスポートセールスの現状と課題	澤田 圭輔 鈴木 健
P3...	「京都舞鶴港見学会」企画と実行 大気汚染問題 忙中閑あり	門 元則 福元 雅英 岩田 英昭
P4...	「台北俳句会」について~黄霊芝先生の受勲を祝し	根橋 玲子

P5...	今こそJETRO認定貿易アドバイザーの出番	池崎 元彦 今野 彰三
P6...	地方中小企業の輸出活性化に向けて 在中国送迎旧年迎接新年 貿易施設の見学ツアーと「東京税関」	中根 昌孝 清水 正明
P7...	我々の活動基盤とAIBA-NET タイにて	永野 靖夫 大橋 昌平
P8...	支部活動、役員往来	
P9...	AIBA NET 論壇	
P10...	アドバイザーの活動、	
P12...	アドバイザーの現況、理事会議事録	
P13...	編集後記	

プロ集団 AIBA' にとって難局を好機と捉え、更なる飛躍を期するため今年も決意を新たにしたいと思います。

中国国際家具見本市出展支援奮戦記

澤田 圭輔 (広島 #332)

平成17年度JETRO支援事業「地場産業等展示事業」に広島県備後地域家具製造業者5社が応募、(財)備後地域地場産業振興センターと(財)ひろしま産業振興機構及び広島県中小企業団体中央会支援のもと「中国国際家具展覧会2005」(期間:9月11~14)に出展決定。当初業者中心に出展準備がなされたが、国際見本市出展知識不足の為、開催2ヶ月前に急遽私が関与することになりました。開催まで準備時間に不安あるも、英文販売資料の作成、商談戦略、輸出価格設定、对中国製品対策など可能な限りの準備をして臨みました。

しかし見本市は最悪の結果に終わりました。中国人バイヤーにとって価格が高い無名ブランドの日本製家具購入はリスクが大きすぎる、「家具城」(貸し展示場)ブースを賃借、販売員を含む経費日本側負担、販売手数料25%条件による委託販売ならば引き受けるとの中国大手家具城業者からの提案もありました。一方、現地中国通も中国市場の商習慣に従う勇気がない限り、中国市場への参入は困難だとのアドバイスも貰ったが、頑として拒否しました。国際間取引で委託販売が成功したためしはありません。逆に外国バイヤーの同じような条件提示を中国業者は飲むか? 論外だと一蹴しました。結果、成果ゼロで終わったが、一つだけ大きな救いがありました。来年も出展してリベンジしたいとの出展業者の強い意欲、これに対しJETROの英断による継続支援が約束されたこと。よって翌18年度同見本市に再度出展することになり、私も4月から関与、出展戦略を再構築、1)ブランドを立ち上げる 2)出展品は単品でなくセット(面)で表現するパフォーマンスに重点を置く 3)販売価格を市場価格との比較で設定する(原価積上げ方式でなく)、8月に入りブランド名Japan Bingo(備後からの発想)が確定、5社共通の総合カタログ(45ページ)を作成、2度目の見本市に挑戦しました。

結果、展示家具全数(42点)を中国最大手家具業者の寧波店が購入、保税貨物で持ち込んだ商品をDDU条件でキャッシュ売却。来年1月に開店する同地のショッピングモール同社ブースで販売することが確定。

購入者曰く「中国が日本製家具製造技術を追い抜くのは至難、正に文化の違いだ」、「中国市場では無名の日本製家具であるが、派手好み(ヨーロッパ中世風)の中国消費者は近い将来Simple is the bestの日本製家具を必ず認知し評価することになる」。

同社の新寧波店開店が19年1月18日に決定、出展5社が販売応援と継続取引商談を兼ねて訪中します。出展業者の意欲とJETROの継続支援の英断と地方自治体の理解と支援及び我々アドバイザーの知識との連携が結実し、日本製家具の本格的対中輸出が実現した事例を披露しまし

た。

ネットによるエキスポセールスの現状と課題

鈴木 健 (神奈川 #51)

買ってから売る、売ってから買う、売るために買う。時代のニーズや経済環境によって取組み方も変わるでしょう。

私はサラリーマン時代を米国の小売業グループの日本支社で過ごし、「売るために買う」がすべての25年間でした。

定退後は代行業に徹しています。1度脱線して「買ってから売る」へ手を出し、売れ残りの処分赤字を出すマイナス結果に商才のなさを嘆いたことがあります。世の中には満足と不足が共存しますが、最近、この不足を充足するビジネスが日本には不足しているように感じています。以前、在日EU委員会からセミナーの講師を依頼され、「日本市場参入の留意点」について提言をしました。

私の後に在日英国人の方が自身の体験から日本人の平均英語力に過剰期待を持たないようにアドバイスをしていました。そのテーマは「Japanese only speak Japanese」でした。

今、私が有望と考えているのが事務所も社員も要らないネットビジネス、特に海外向けB to Cで、昨年ドイツでは50%も伸びたそうです。大阪のベッドタウン、富田林市に(有)一郎や(英文名ICHIROYA 社長和田一郎氏)があります。僅か4年間で年商4億円のネット事業を育て上げた人です。多くの人に「やる気」を起こさせ、ドリームゲートも取り上げ、起業家育成講座に採択したほどです。この企業のオンライン・セールスポイントは「古着の着物を世界のフリーマーケットで売ろう」です。

今は開発した英文ホームページの作成ソフトと海外向けネット販売のノウハウをパッケージにまとめ、事業をさらに発展させています。

日本では、商品やサービスのセールスを世界規模に伸ばした例は未だ少ない。理由は何かが不足しているからでしょう。私は不足の充足こそビジネスチャンスと捉えています。

製品のB to Cエキスポセールスは、簡素化がさらに進み貿易の経験や専門知識があまりなくても可能となるでしょう。しかし、大衆化がいくら進んでも専門家の支援指導が必要なことに変わりはありません。何故ならグローバルビジネスにリスクはつきもので、リスクは絶対にゼロにはならないからです。

参考資料:「一郎や」に関するURL: <http://www.ichiroya.com> および <http://www.ichiroya.com/shopowner/>

「京都舞鶴港見学会」企画と実行

門 元則 (京都 #321)

AIBA関西支部では11月定例研修会を繰り上げて、10月

21日(土)「京都舞鶴港見学会」を開催しました。近畿地方では日本海側唯一の貿易港として、ロシア、北朝鮮、中国、韓国、台湾等との航路も開け、昨年度の貨物取扱量は272万トン(うち輸出47千トン)でした。FAZくん蒸倉庫も農産品輸入等に活用されています。秋たけなわの美しい一日、天気晴朗に恵まれ20名程が参加しました。当日は土曜日にも拘らず、本見学会を主催して頂きました舞鶴港振興会の伊達常務、新宮事務局長ほか全スタッフ並びに地元港湾・物流企業の現地代表者出席の下、京都舞鶴港について、ビデオ映像等を駆使しての分かり易い解説・ご説明を頂き、「仕事が速い舞鶴港」の様子が手に取るように分かりました。

レストラン「れんが」での昼食会では、とれとれの美味で豊富な日本海の幸等を囲んで、参加者による楽しい懇親のひとつきを味わいました。

鶴が羽根を伸ばして舞う姿に似ると伝えられる、リアス式海岸を生かした舞鶴港を、海上からつばさに視察、防波堤の無い天然良港のたたずまいは、五老岳頂上に聳えるスカイタワーからの眺望と併せ、正に、「近畿百景」の第一位の貫禄でした。3年後の完成を目指している水深14メートルの和田埠頭(仮称)は貿易船の大型化に伴い5万トン級が係留できる期待の星です。

西港の埠頭では退去時間が秒読みで迫る中、急ぎ積荷を了えた北朝鮮の船が何隻も帰って行ったようです。

そこで、「自転車をてんこ盛りして北船はイージス艦居る湾出て行きぬ」という短歌を作ってみました。

「赤れんが博物館」には、グローバルな古今東西のレンガ(煉瓦)コレクションが有り、成分・形状・色合・積み方等々、「所変われば品変わる」文化の違いを学びました。「とれとれセンター」では、蒲鉾や魚の一夜干し、へしこ等を求めていました。

夕刻となり、参加者はマイカーやJR列車に乗って家路へと戻って行きました。

今回は主催者による起承転結を心得た大変行き届いたサービスに参加者一同、感謝の気持ちが満ちていたように思いました。北近畿の中核(コア)として、歴史の変遷の中でいろいろな顔を持つ国際文化観光都市舞鶴と、国際貿易港舞鶴を両翼に、あの美しい鶴のように羽ばたいて行くことを切望します。私共AIBA関西支部も、JETRO認定貿易アドバイザーとして、舞鶴港ご利用の、中小企業貿易関連業者様の貿易実務のよろず相談相手として、微力を尽して行く所存です。

大気汚染問題

福元 雅英(香港 #163)

香港の今年第一・四半期のGDP伸び率は8.2%、第二・四半期はやや減速し5.2%であったと発表がありました。今年の年間の伸び率は6%程度の予想で、昨年の7.3%には及ばないものの引続き好調な経済状況となっています。失業率もSARS時の8.3%から大きく回復し、直近では4.8%です。このように好調さを維持する香港経済です

が、将来の不安要素もいくつか挙げられます。

私はその中で、「香港の大気汚染と環境問題」を取上げてみたいと思います。香港では、日常的に「空気の悪さ」を感じます。

香港天文台によりますと、香港の大気汚染はますます深刻になっており、今年3月現在では、視界度が過去10年で最悪となっています。主な原因は、香港の隣の中国広東省にあるたくさんの工場から発生するばい煙や排ガスです。広東省政府と香港政府もだいが以前から話し合いを続けているようですが、目に見える成果は挙がっていません。

香港の大気汚染問題を根本的に解決するには、広東省政府の対応が不可欠ですが、少しでも汚染状況を緩和するために、香港が独自に取りうる対策はないのかと考えたくなります。

香港で生活している私は、「香港は車が多すぎる」と感じます。タクシーの台数も多いし、バスも大小合わせてかなりの数が毎日走っています。自家用車はと言うと、この狭い香港で、燃費の悪そうな高級外車がたくさん走っています。交通の便が良いことは、生活者にとってありがたいことですが、それだけに政府としても、車の台数を減らしたり、自家用車の乗入を制限する時間帯を導入するなどの対策を採ってもいいのではと感じてしまいます。

香港を案内する旅行ガイドの40%が、旅行者から「空気が悪い」と言われ、また5%は「もう2度と香港には来ない」と苦情を受けたとのニュースもありました。香港の主要産業である観光業に対する懸念が増大しています。また、外資企業で働く人の中には、空気の悪さを理由に、自ら香港を離れたり、やむなく家族だけを帰国させたりしているようです。香港では、よく「冷房の使いすぎ」も問題視されます。私も冬に冷房の効いた地下鉄に乗合わせて、閉口したことがあります。また、「香港の映画館は、冷房のせいで、寒すぎて行きたくない。」と話す日本人もいます。ここでも無駄なエネルギーが使われています。

また、身近なことのひとつとして、香港では家庭で「ごみの分別」をしません。生ごみであろうが不燃物であろうが、何でも一緒にゴミに出しても、誰からも文句を言われません。精神論になるかもしれませんが、「家庭でゴミを分別させる」ようなことをやらないと、環境に対する意識がますます希薄になっていきます。

大気汚染や環境問題は、都市の魅力や競争力に関わる重大な問題であり、また市民の健康を守るという観点からも早急な対策が必要です。

忙中閑あり

岩田 英昭(埼玉 #288)

「AIBAだより」には毎号、貿易アドバイザー業務関連の寄稿が多数掲載されており、会員の豊富な学識と活動ぶりがよくわかります。それに対し本稿は、業務とは無

関係ですが、貿易アドバイザー協会の会員になって得られた副次的効果を綴ってみます。

それは会員になって素晴らしい友人が出来たことです。

勉強会後の懇親会や行事の席で新しい知人が出来たことは大変嬉しい有難いことでした。特に、福田浩人氏（#254）橋本浩一氏（#374）とは毎月、三人でグラスを傾けての談論風発を楽しむ極めて親しい間柄となり、筆者の生活に潤いと刺激を与えてくれています。話題は文学、歴史、映画、野球、社会時評など多岐に亘り大変楽しいひと時を過しています。大学の同期会や会社のOB会とは一味違ったとてもいい雰囲気です。呑み会の前に、博物館や美術館での芸術鑑賞会もよく行います。

時には一泊旅行も楽しめます。三人で長野県の城下町・松本市へ行った時のことです。旧制の高等学校に強い興味を持つ福田氏の希望もあり、「長野県宝」として現存する旧制・松本高校の校舎の一棟が「全国旧制高等学校記念館」になっているのを見学しました。そこには昭和25年3月に旧制高校が廃止されるまでの全国41校の授業風景、寮生活の写真、校歌・寮歌、試験問題や答案の現物など豊富な物品、資料が展示されています。旧制高校では、文系、理系 共通のリベラル・アーツ（一般教養科目）を教える理想的な教育を行っていました。

それらから当時の様子が手に取るようになります。

西欧哲学や文学、思想を学び、人間形成に努め、自治律の精神を涵養、謳歌した若者の心意気に感銘を受けました。その折、旧制松本高校の卒業生で現在は信州大学・名誉教授の馬瀬良雄先生（言語学者）にお会いしました。

先生から松本高校での教育のことや、先生と同時期に松高に在学した作家・北杜夫、辻邦生の学生時代のことなど興味深い話をお聞きしました。

福田氏が現在、留学生に日本語や英語を教えていることを話すと、以前に一時期、ブラジルの大学で日本語教授の経験をお持ちの馬瀬先生との間で語学教育論に華が咲きました。また、同先生は橋本氏の出身大学の先輩なることがわかり嬉しい驚きでした。

岩田は、あのアグネス・チャンさんが数年前に信州大学で非常勤講師を勤めた記憶があったので、それに言及すると、馬瀬先生は「アグネス・チャンを招聘したのは予算の豊富な経済学部だった。予算の少ない文学部ではとても出来ないことだ」とのこと。馬瀬先生はアグネス・チャンの講義を経済学部の教室で聴講され、なかなかいい授業だったと回想しておられました。

私達三人の小旅行は松代にも足跡を残しています。江戸時代は大名・真田氏の城下町であり、真田宝物館や佐久間象山記念館、川中島古戦場その他も見学しました。

「忙中閑あり」、親しい仲間でのリフレッシュの機会を持つことは、アドバイザー活動や他の仕事のエネルギー源にもなるにちがいありません。AIBA会員になったご縁で、新たないい人間関係が生まれ、筆者の人生の素晴らしいアセットになっています。

「台北俳句会」について～黄靈芝先生の受勲を祝し

根橋 玲子（東京 #383）

平成18年11月3日付、日本政府は平成18年度秋の叙勲受章者を発表し、35年以上にわたり「台北俳句会」を主宰されている台湾の黄靈芝（本名：黄天驥）先生が、日本文化の紹介に長年寄与したとして、旭日小授章を受章され、12月4日に台湾の公邸において授章式が執り行われ、台北俳句会会員も多数参加されました。黄先生は、平成16年11月に『台湾俳句歳時記』で第3回正岡子規国際俳句賞を受賞されており、日本の俳句会からも高い評価を得ている俳人です。

黄先生は戒厳令下、植民地時代の言葉として日本語への風当たりも厳しかった1969年、アジア・ペンクラブの会合が台北で開かれ、日本の文壇関係者と台北の歌壇や俳句作家の間で交流会が持たれました。これを機に1970年台北俳句会が結成されたのですが、当時日本政府に代わり中国大陸からやってきた国民党政府の政策により、十人以上の会合は当局への届け出が必要で、日本語の会合は禁止されていました。純然たる俳句の会でも同様に、警官に踏み込まれ逮捕される危険を伴う状況の中でも一心に台北俳句会を続けてこられました。その後戒厳令が解かれ、会合も日本語使用も自由になり、現在では会員が60名となり、台北市内のホテルで毎月第2日曜に月例会を開いています。

私と台北俳句会との関わりですが、台湾側経団連事務局トップの方より台北俳句会の陳事務局長をご紹介いただき、本年に入ってから末席ながら投句を続けてまいりました。会員の皆さんは、大半がかつて日本統治時代の台湾で日本語による教育を受けた台湾の方であり、ご高齢の方が殆どですが、皆さん台湾語や北京語以上に、表現豊かな日本語を自在に操られ、日本人である私の方が、自分のボキャブラリーの貧弱さに恥ずかしくなってしまう程です。月に一度3～5句程、主に「台湾歳時記」による台湾の季語を使用しての投句となります。俳句は日本語で詠みますが、投句用の俳句は自ずと台湾の季節感に合わせることであり、日本在住者にとってはハンデが多いのですが、仕事柄台湾出張が多い私は、台湾の空気を感じながら創作できる幸運に恵まれています。

黄先生は長い事日本語での創作活動を続けて来られたのですが、一昨年正岡子規国際俳句賞受賞の折に、生まれて初めて日本の土を踏まれたこと。生まれ故郷の台南の風景と日本の地方の風景が重なって見えたとのコメントをされており、日本と台湾は懐かしい原風景がどこか似ているようで、それが俳句の心が繋がる一つの理由なのかもしれません。

国交のない台湾の方が叙勲されたのは、これまでたったの4名であり、昨年秋の叙勲では李上甲氏（財団法人台日経済貿易発展基金会董事・常任特別顧問、台日商務協議会秘書長）が日台間の経済交流促進に寄与したとして、やはり旭日小授章を受章されておりますが、李先生

は現在の台湾との貿易経済交流促進の仕事で、私が最もお世話になっている方であり、昨年と引き続いてのお祝い事は非常に喜ばしく感無量でございます。

この場をお借りしまして、黄豊芝先生の受勲を心よりお祝い申し上げます。

根橋玲子（俳号：西本綾乃）

今こそジェトロ認定貿易アドバイザーの出番

池崎 元彦（神奈川 #431）

私は現在64歳、商社を早期退職して6年になります。年に数回会社の同期生との飲み会やゴルフ会に参加していますが、その都度各人の近況報告があります。現役時代に世界を股にかけ或いは各業界で活躍した豊富な経験を持つ優秀な友人の多くが、一様に孫の世話、ゴルフ、旅行などを中心とした生活を送っているという話をします。

私はその都度思いますのは彼らがその経験を生かし社会活動に参加すれば本人のためにもまた社会の為にも良いのにと言うことです。勿論、友人にはそれぞれの生き方、考え方がありますのでこのようなことは口に出しません。

一方、私の新しい仲間であるAIBA会員の忘年会、勉強会やその他の活動に参加すると同期会とは雰囲気違います。会員には私より年配しかも相当年配の方が多いために、皆さんは非常にお元気で積極的です。

単に私は商社マン出身だからなどと言っているのもソウダカラ？と世間では相手にしてくれません。しかしAIBAの会員はジェトロ認定貿易アドバイザーという社会的に認められた資格を持っているために社会活動への参加の要請、チャンスが与えられまたチャンスを開拓してゆけるペースがあると思います。この差が同期会とAIBAの雰囲気の違いかな？と感じている次第です。

今日、日本社会は大きな曲がり角に来ています、特に教育が大きな問題となり各種の変革が求められています。その中で時代の要請が教育再生会議では教員採用に「社会人枠」というものを設けるという提言がされるようです（読売12月9日）。大学が政治家や実業家の教授を招聘していることや裁判における陪審員制度の導入も社会人の経験を尊重し生かしたいという動きであると思えます。

このような社会的な要請とグローバル化の中で貿易アドバイザーに対する期待は増し、活動のチャンスも拡大していると思います。例えば新聞で毎日の如く報じられているASEANプラス3、東アジア経済共同体構想、FTA、EPA、APECのFTAなどの大きな国際的な経営環境の変化に対する企業の新しい国際化戦略へのアドバイスが出来るのは中小企業診断士、税理士、公認会計士ではなく、ジェトロ認定貿易アドバイザーこそが最適任であると自負しています。

しかし自負には裏づけが必要ですからAIBAの勉強会な

どの機会を利用して更なる自己研鑽を積み、企業の国際化にご協力させていただきたいと考えている昨今です。

地方中小企業の輸出活性化に向けて

今野 彰三（仙台 #465）

2006年も早数週間を残すのみです。日本の景気は、緩やかではあるが回復基調に有るとの報告がなされています。その理由として、1)個人消費拡大、2)設備投資底堅い、3)輸出好調が上げられます。但し、懸念材料としての、円高、原油高を忘れてはなりません。

所で、中小企業基本法に言う、製造業に於ける中小企業とは、従業員300人以下、資本金3億円以下を指します。この中小企業の分布はその企業数で、国の企業数の98.9%を占め、その総数では日本全国に有るほとんどの企業が中小企業と言っても過言ではありません。それも地方に集中しているという特徴が窺えます。同時に最近の傾向として、中小企業に於ける輸出比率が国内取引を上回る企業が年々増大傾向に有ります。中小製造業の輸出はこれからも増え続けると確信します。大手製造メーカーの生産拠点の海外移転が広がる昨今、全国津々浦々広がる中小企業の趨勢は、日本経済の長期的発展を担う重要な要素となっています。中小製造業に於ける輸出促進は国レベル、地方レベルでの経済活性化の大きな要であります。

一方これら中小企業に於ける輸出促進への課題には、海外顧客との意思疎通の困難性、商慣行の相違、技術の漏洩、知的所有権が不明瞭、受注単価の安さ等が横たわっています。又国内取引とは異なる関連法規、規制等が横たわります。又商流、物流、資金の流れ等の知識も必要であり、貿易実務を専門とする我々、貿易アドバイザーの活躍の場が存在します。しかし「真の海外ビジネスの創造、起業」を支援する海外ビジネスアドバイザー的要素を含む総合プロデューサーを、新規に輸出を志向する中小企業の間では求められています。この点も見逃せません。

輸出ビジネスの流れは、今野流で言わせて貰えば、前工程（商品開発・市場開拓）、本工程（販売）、中工程（商品物流）、後工程（市場評価）の言わばマーケティングサイクルの繰り返しです。製造メーカーとしては前工程である「商品化の為のマーケティング」そして、後工程である「アフターサービスを通じての市場ニーズ、シーズの探索・検証」が極めて重要な活動要素となります。

中小製造業の輸出活性化のポイントには、優秀な商品（国際競争力ある商品）そして、輸出意欲（トップの海外投資への決断）に大きく係わります。

新生JETRO（独立行政法人 日本貿易振興機構）は、現在日本に於ける経済活性化の三つの要諦として、1)東アジアに於けるビジネスの連携強化、2)海外からの対日投資促進、3)中小企業への輸出支援を掲げています。

この中でも、JETRO輸出有望案件発掘支援事業は、市

場開拓から契約締結までの支援として、輸出専門家派遣制度をその活動の柱としています。その結果として、1) 新規輸出企業の創出、2) 海外取引による新規雇用、3) 新規設備投資に繋がる等の多面的経済効果が期待されています。

有望輸出案件発掘支援事業に於ける候補企業対象の資格要件は、「輸出は未経験ではあるが、1) 国際競争力有る商品を抱える事、2) トップの輸出意欲が認められる企業」であり、これら登録企業にとっての、言わば「海外本部長」的な任務を担います。

この輸出有望案件発掘支援事業を通じて、JETRO渡邊理事長が唱えておられる「JETROは貿易振興の取り組みを通じて、日本経済・社会がより一層豊かになるように貢献するという高い理想と目標」に向かい、JETROの仲間との強い絆で日夜奮闘している毎日です。同時に、「ときめき：EXCITEMENT」と「よろめき：CURIOSITY」を生涯のモットーとし、輸出専門家として研究・研鑽を積み重ねている毎日でもあります。

在中国送走旧年迎接新年

中根 昌孝 (香港 #365)

(香港が揺れる) 岩盤の上に築かれた香港が揺れた、周辺の中山、珠海も深圳も地震で揺れたというのは、長年当地域を往来してきた当方にとって初体験であった。これは12月26日に起こった台湾沖地震の影響によるもので、調べて見ると香港での地震の観測は、1979年から行われていた。これまで53回の揺れが観測され、其の内、ほとんどが震度3~4のもの(今回の地震も同範囲)で、これを超える震度5~6というのは過去1回あったに過ぎない。震源地のほとんどが、香港から数百キロ離れた太平洋プレート地域に集中しているため、香港の揺れはあっても軽微である由で知って一安心というところ。

(来料加工工場進出) 当方が勤務している日系工場は、香港からフェリーを乗り継いで約2時間の、広東省中山市三郷鎮の工業区に在る。複写機などOA機器用機能部品などの加工製造を担当している。工場は年々大きくなっているが直面する問題も多い。06年も色々あった。

(第三工場設営) ここ一、二年工場用地の確保が大変難しくなった。鎮政府の仲立ちで何とか隣村に用地を確保した。持ち主は華僑で土地の権利書(50年の使用権)を確認し、公証人事務所で賃貸契約を締結した(地方政府の権益などよく話しに聞く問題には留意した)。この工場も本年度末に完成。ちなみに工場宿舍建設費込み家賃は、最初三年間人民元13/M2(約200円/M2)である。

(中古機械の免税輸入) 高価な機械を投入する場合、免税輸入ができる来料加工工場は有利だ。8年以内の中古なら輸入許可は比較的容易。これを超える中古の場合は、省検験検疫局(船積前検査)更にNCとなると北京総局(日本での検査を含む)の許可が必要だ。又、NCは香港で仮陸揚げを行う場合、戦略物資規制により、香港政府の事前許可も必要となる。

(企業所得税) 今年はこれに悩まされた。03年に来料加工工場も企業所得税を支払うことになった。国税局と交渉し、みなし税方式(征收方式。優遇税率適用。何でも交渉が大事だ)にて支払うことを決めた。それが06年1月から今度は査収方式(実質計算申告方式。税率33%)に変えられた。

(反洗錢法) 香港から送金される加工費(運転資金)の現金引き出しが4月から毎月20万円までに制限されたこと(マネーロンダリング対策)や(国税局通達)10月に加工収入報告書と香港からの加工費の送金額を一致させるという難題などに直面した。

(黒字はリスクという政府発言と輸出及び加工貿易規制) 9月以降、政府から数度に亘り上述の規制が発表された。この中には特に華南ローカルルール(来料加工制度)を狙い撃ちにしたと思われる規制策もあり、華南を脱出する企業が出ている。当社は、今後独資への転換を考慮に入れている。07年も数多の新政策が出て来よう。上には政策あり、下には対策ありで貿易アドバイザーの本領発揮と行きたい。

貿易施設の見学ツアーと「東京税関」

清水 正明 (埼玉 #47)

埼玉グループの有志会員が、ジェトロ埼玉や埼玉国際ビジネスサポートセンターと共催で実施している「貿易実務講座」のカリキュラムに、「貿易施設の見学ツアー」が組み込まれています。毎回50名前後の参加者から、「他では得られない現場見学の機会」として好評を戴いています。さらに、民間企業からも「生きた貿易ゼミナール」として、社員のための「現場見学コース」の企画・実施を依頼されています。

この見学は、とかく「抽象的説明」に偏り、「難しい」と言われる貿易実務講座を、実務に対応した内容に作り上げ、参加者に楽しく受講して戴くために考案されたものです。見学先としては、横浜港や大井埠頭の海上貨物施設、成田空港の航空貨物ターミナルなどの国際ロジスティック施設、東京や成田の税関、検疫所などが対象となっています。見学先としては、最新の設備やシステムを運用している施設を選んでいきます。

いくつかの訪問先の中で、毎回必ず研修・見学を依頼する機関は、都内江東区青海にある「東京税関本関」であり、2006年は4回の訪問、参加者は合計150名以上に達しています。東京税関では、見学・研修の窓口である広報公聴室が、貿易関係者向けのプログラムを特別に作成して下さり、約1時間30分の見学時間内に、税関機能のビデオ研修、通関事務室、貨物検査場、税関相談官室の見学・説明が順序良く行われ、さらに「情報のひろば」で麻薬の密輸から違法コピー商品やワシントン条約に関わる輸入禁制品まで、実物を通して広範囲に学習することができます。

最後に、税関ビルの最上階から税関研修の後に訪問する大井CYを遠望して東京港の規模を実感することも、こ

の見学ツアーの目的の一つです。

さて、わが国の税関の機能や職務については、AIBA会員は十分に理解されていることと思いますが、東京税関の管轄区域、主な役割の概要を読んで戴き、これが諸兄姉の貿易実務、特に税関に関わる知識の最新化に役立てば幸いです。

1. 東京税関の管轄：

税関は、財務省の地方支分部局であり、函館、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎および沖縄地区に合計9つの税関が設置されています。東京税関は、東京、山形、新潟、群馬、埼玉、山梨1都5県と千葉県の1部（成田空港とその周辺、市川市原木）を管轄しています。

2. 役割：

1) 監視行政 2) 通関行政 3) 税務行政 4) 保税行政

3. 通関・課税

1) 輸出入貨物の通関・課税

税関では、申告の正当を審査し、必要に応じて貨物検査（外見、分析、X線など）を行い、輸入貨物については規定の関税や消費税が納付されたかを確認した後、輸入許可となります。

2) 携帯品の通関・課税

外国旅行者が輸入する携帯品については、一定範囲内のものは免税となります。

3) 国際郵便物の通関・課税

国際郵便物の通関は、一般貨物の通関とは異なり、税関へ申告する必要はありません。必要に応じ税関からの通知により配達郵便局へ税金を支払います。

4) 通関情報処理システム（NACCS：Nippon Automated Cargo Clearance System）

現在、税関申告される殆どの海上・航空の輸出入貨物は、NACCSと呼ばれる官民共同利用のコンピュータシステムを利用し、通関処理されます。

参考機関：東京税関 <http://www.tokyo-customs.go.jp>、東京税関成田支署 <http://www.narita-airport-customs.go.jp>、東京税関公報公聴室 koho@tokyo-customs.go.jp

我々の活動基盤とAIBA-NET

永野 靖夫（東京 #68）

我々の日頃の活動基盤である貿易、即ち、我が国の輸出入総額は現在大凡120兆円、件数は約2,300万件と言う膨大な規模に昇ります。しかも、これらは、平均すると毎年数%ずつ成長し続けており、我々の基盤は幸いなことに成長過程にあると言えるでしょう。

当然のことながら、この中で、我々は微々たる存在に過ぎませんが、逆に言えば、我々の土俵は途方もなく大きいとも言えると思います。

一方、貿易を取巻く環境は大変なスピードで変化してきています。法律の改正は言うに及ばず、商慣習と言われるものさえも不変ではありません。

さて、このような環境下で、我々の顧客たる中小企業

が我々アドバイザーに求めているものは、変化に対応できる素早さと網羅できる領域の広さではないかと、私は考えています。広さについて言えば、詐欺師の見分け方から始まって、国の安全保障に関わる問題まで、我々は幅広く対処できねばなりません。

そこで、この難問にどう取り組むかですが、唯一有効な手段は、AIBA-NETを通じての情報交換だと私は確信しております。即ち、我々一人一人がこの情報は仲間に知らせておくべきだと感じたら、躊躇なくAIBA-NETにアップすべきですし、逆に、何か知りたいときは、躊躇なくAIBA-NETに問い合わせるべきでしょう。

AIBA-NETの三百数十人の仲間の中には、皆さんの提供する情報を必要とする人が必ずいますし、一方、皆さんの問合せに対して、即刻解答してくれる親切な仲間の存在を確認できるはずで、我々は一人きりではありません。仲間がいることを確信できれば、それが自信につながってきます。少なくとも、これが私の活動の基礎でもあります。

私の知っている限り、他の資格運営機関はAIBA-NETのごとき、有効かつ効率的な情報交換のツールを持っていません。その分、我々は明らかに有利な立場にいると言えるでしょう。

一方、残念ながら、現時点では、我々の資格の知名度は必ずしも、高いとは言えませんが、我々自身が切磋琢磨して実力を付けていけば、必ず知名度は上がってくると思います。最後に、我々アドバイザーは孤立し、情報が入らなくなったら、お終いです。この点は、肝に銘じておくべきでしょう。

タイにて

大橋 昌平（タイ #343）

商社の駐在員として2006年6月にタイのバンコックに赴任して6ヶ月、激動の半年でした。タイの現在を皆様にご紹介したいと思います。

タイと日本との関わりは古く、600年以上に亘る交流があり、17世紀初頭の江戸時代初期にはアユタヤに1500名を越える日本人が日本人町を形成していました。アユタヤ王朝の重鎮となった山田長政が活躍したのもこの頃です。

2007年には日タイ修好120周年を迎えます。

外交、経済を通じて緊密な関係をもってきた日タイ両国ですが、まだまだ一般には東南アジアの観光国というイメージが強いのではないのでしょうか。

簡単にタイ国のデータを紹介します。

国土面積 51万平方キロ（日本の1.4倍）、人口 62百万人（日本の1/2）、一人当たりGDP（US\$）2,624（日本の1/13）宗教 仏教（人口の94%）、貿易 日本は輸出相手国として第二位（一位は米国）輸入相手国として第一位、投資 日本からの投資額は外国からの直接投資の13%を占め断トツの一位

主要輸出入産品を見ますと、輸出はコンピュータ部品、

車・同部品などを中心とする工業製品・半製品が80%、輸入は原油、原材料、工業用機械など資材が大半を占めています。明らかに工業品の加工貿易立脚型の貿易構造なのです。今後も機械、電子機器を中心に投資が増え、日本からは自動車産業を中心に投資額トップの地位を維持していくでしょう。

2006年の出来事に目を向けましょう。

大きなトピックスとして、1)6月のプミポン国王在位60周年記念式典と天皇皇后両陛下のご参列、2)9月のクーデターによるタクシン政権崩壊と1年後の民政復帰を前提とした軍事暫定政権の発足、3)年初からの対ドルパーツ高、金利高、粗原料高が挙げられるでしょう。

政治的不安定な状態は続いています。クーデターというやり方の是非は別にして、一応安定化の方向に向かいつつあるし、一部テロなどの動きもあるものの市民生活は概ね平穏であり、これらは国民の絶対的信頼と尊敬を集めるプミポン国王の存在があるからこそと言っても過言ではありません。

一方、政治的混乱が続く中、経済は全般的に好調で、パーツ高、金利高、粗原料高のトリプルパンチで繊維などの従来型の輸出産業は打撃を受けたものの、車、工業部品等の輸出は好調を維持し経常収支は黒字化、力強い経済と言えます。

チャイナリスクを想定したチャイナプラスワンの動き、日タイFTA締結後に向けた動きで、日本にとって貿易相手国、事業投資先としてタイの重要性が増してきています。

タイは観光立国のみならず貿易立国としてアセアンの中枢を担っていくでしょう。タイに來られた方はほとんどその魅力の虜になります。是非タイを見られたらいかがでしょうか。タイ人の微笑みが迎えてくれることでしょう。

支部活動

東海支部・勉強会

10月21日

例会(勉強会)テーマ「関税の評価申告ほか」

講師:旭運輸(株)物流事業本部 参事 樋田敬氏

12月2日

例会(勉強会)

1. 東海支部地域でのアドバイザーの活躍の場について

講師:ジェットロ名古屋貿易情報センター係長 西川 壮太郎氏

2. 貿易代金決済方法の現状について

講師:AIBA理事 井上隆彦氏

関西支部

定例研修会 舞鶴港見学会

日時:10月21日(土)

出席者:20名

中国四国支部・勉強会

11月25日 AIBA中国四国支部年末例会(松山市で開催)

来賓:ジェットロ愛媛貿易情報センター所長、
巽 嘉弘氏

巽所長からは「愛媛の国際化の現状とジェットロの活用」と題して、前年比20%増と伸びた愛媛県貿易の現状と推移、貿易相手主要国、船舶が輸出品目の1位を占める輸出入品目構成等、およびジェットロの愛媛産業国際化センターへの取組みや各種国際化支援策等について資料付きの詳しい説明を頂く。その後、講師の弓場俊也氏の「ユーロビジネスへのアプローチ」をテーマとする長いイタリア駐在経験をもとに文化・物流・通貨事情を、ファッション産業やチーズ工場など豊富な例を挙げて、日本企業と比較しながら説明され、11名の参加者は深い感銘を受けた。

12月11日(中国知的財産シンポジウム)中国経済産業局主催。ホテルJALシティ

首都圏地区・勉強会

10月25日 10月度例会

テーマ:「海外信用取引のリスクとダンレポートの活用、その読み方」

講師:(株)東京商工リサーチ D&B事業推進室
部長補佐 田中 現 氏

場所:ジェットロ本部A会議室

参加:32名

11月25日 11月度例会

テーマ:「ベンチャーを考える」

講師:貿易アドバイザー協会 事業推進担当理事
寺尾 邦彦 氏

場所:ジェットロ本部A会議室

参加:18名

首都圏アドバイザー試験受験対策セミナー

(副理事長、専務理事、網谷・井上理事)

第1回 8月18日 受講者53名(於:都産業貿易センター)

第2回 9月23日 受講者16名(於:AIBA会議室)

役員往来(平成18年7月~12月)

7月8日 国際企業組合/AIBA幹部打ちあわせ
正・副理事長、専務理事、網谷・井上理事

7月10日 ジェットロ斉藤総括審議役、北条課長訪問
(受験対策セミナー開催提案につき意向打診)
正・副理事長、専務理事、網谷・寺尾理事

7月13日 オランダ大使館経済部訪問。
網谷・小河原理事

” 受験対策セミナー委員会
専務理事、網谷・井上・寺尾理事

7月14日 海外技術者研修協会東京事務所訪問
網谷・足立理事

"	Kompass Japan 社訪問 専務理事	10月5日	ジェットロ「講師派遣プロジェクト」、「貿易ハンドブック06見直し案件」打ちあわせ 専務理事、網谷・寺尾理事
7月15日	関西支部定例研修会 門関西支部長	10月12日	業務委託に関する打ちあわせ 正・副理事長、専務理事、網谷理事
7月20日、8月31日	受験対策セミナー講師打ちあわせ 専務理事、網谷・井上・寺尾理事	10月17日	ジェットロ北条課長訪問 セミナー御礼・アンケート結果報告) 正・副理事長
7月24日	第60回理事会 出席理事9名、監事1名	10月21日	第62回理事会 出席理事7名、監事1名
7月27日	「AIBAだより」編集会議 理事長、橋本・小河原理事	10月21日	東海支部10月度例会 中川支部長
8月1日、18日、31日、9月7日	受験対策セミナー講師打合せ会 講師7名、網谷理事	10月24日	ジェットロ守部センター長訪問 (AIBA勉強会の事業化に関わる支援依頼) 副理事長、川村理事
8月3日	スイス大使館訪問。(新規案件打合せ) 網谷・足立理事	10月26日	ジェットロ出版関係・TTPP関係打合せ、専務理事
8月7日	ジェットロ盛岡貿情センター 柳川所長訪問 島山北日本支部長	"	青森県職員来社懇談、専務理事・網谷理事
8月14日	会員アンケート集計打ちあわせ 副理事長、専務理事、川村理事	10月30日	ジェットロ商品別Q&A入札説明会出席 釜堀専務理事、網谷・寺尾理事
8月21日	日本商工会議所国際部訪問 (受験対策セミナー協力要請) 網谷理事	10月31日	ジェットロ講師派遣提案打合せ、 専務理事、網谷・寺尾理事
8月21日	ジェットロ広島所長訪問 (貿易セミナーに地元会員優先起用依頼) 近藤中四国支部長	11月6日	ジェットロ和文Q&A入札説明会出席、 専務理事・網谷理事
8月21日	大手国際展示会企業訪問(海外営業管理助言 業務引合協議) 網谷・足立理事	11月17日	「AIBA便り」編集会議 理事長 専務理事 橋本・川村理事 編集会議はAIBA NET上においても、必要に応じ開催した。
8月23日	第61回理事会 出席理事10名 監事2名	11月24日	木場公認会計士面談 正・副理事長
8月24日	ジェットロ山形貿情センター川西所長訪問 島山北日本支部長	11月27日	ジェットロ貿易投資相談課 (和文Q&A打ちあわせ) 網谷・寺尾理事
8月26日	東海支部8月度例会 中川支部長	12月2日	東海支部12月度例会・勉強会 井上理事、中川支部長
8月28日	名古屋貿情センター所長交代歓送迎会出席 中川支部長	12月4日	木場公認会計士打ちあわせ 正副理事長、専務理事、井上理事
8月31日	ジェットロ福島貿情センター武田所長訪問 島山北日本支部長	12月7日	ジェットロ総括審議役訪問、専務理事、網谷理事
9月8日	広島修道大神田教授と打合せ (アジア市場経済学会他加盟希望者の扱い) 近藤中四国支部長	12月8日	大手国際展示会企業訪問、足立・網谷理事
9月16日	関西支部定例研修会 井上理事、門関西支部長	12月9・10日	第63回理事会(於:東商薬科フォーラム) 出席理事15名(中四国支部長代理出席) 監事 2名
9月22日	安全保障貿易説明会 近藤中四国支部長	12月12日	オランダ大使館経済部訪問、 網谷・小河原理事
9月25日	ジェットロ貿易開発部訪問、 専務理事、網谷・寺尾理事	12月14日	ジェットロ海外調査部(出版)訪問 専務理事、網谷理事
9月27日	東京商工リサーチ訪問(勉強会出講依頼) 副理事長、川村理事	12月20日	ジェットロ/AIBA-JDP委員初回会合、 網谷・寺尾理事
9月29日	クイーンズランド州政府事務所訪問、 網谷・足立理事		
10月3日	農水省横浜植物検疫所(勉強会出講依頼) 副理事長、川村理事		

AIBA NET 論壇

(10月)

信用状統一規則上の過不足条項について
北朝鮮との輸出入禁止
中国ビジネスでの支払手段について
北朝鮮経済制裁と原産地確認
海外子会社向け中古のリスト規制対象貨物
UCP600（新・信用状統一規則）関連情報
輸入貨物の木材梱包
種子・苗木の輸出規制
なまずの輸入
アメリカからの雑貨輸出
アワビ養殖場のJVパートナー
米国と中国の器械PL、最近の動向
中国語への翻訳
貿易関連質問への回答方法
EC向けCEマーキング

(11月)

タイ国グループの詐欺事件
国際詐欺グループの手口
詐欺事件と安全保障
B/Lなしの通関
AQLとは
1/3 B/L用の文言
DDUについて
覚書の法的効力
イギリス休眠会社の買い方

(12月)

台湾向け輸出に関する決済
船荷証券の謄本
船荷証券の元地回収 (Surrender B/L)
中国向け廃プラスチック

アドバイザーの活動

講演・講師

1. 野本 功司 (東京 #76)
10/16-21
ミプロ (対日貿易投資交流促進協会) 主催
「小口輸入視察・買い付けミッション」にコーディネーターとして参加、タイ、バンコック国際ギフト&ハウスウエア2006、チェンマイ訪問
2. 弓場 俊也 (大阪 #415)
9/6-11/29
大阪市経済局、(社)大阪輸出入協会主催
「輸出入通関実務セミナー」2時間×10回
於：大阪マーチャндаイズマート会議室
11/11
日本コミュニケーション学会主催シンポジウム
「国際ビジネスの現場にて～ビジネス成功のカギは異文化理解である」
於：千里金蘭大学
3. 木村 徹 (東京 #347)
12/1
中小企業大学校 (東京都東大和市)
「ロジスティクス戦略」
4. 大河内 竹雄 (埼玉 #17)
11/22-25
ジェトロ貿易開発部アジア支援課主催
東京国際家具見本市 (IFFT2006) 内「ATPFゾーン」
共同展示会での貿易アドバイス
5. 岡田 有叶 (滋賀 #19)
11/6
佐賀県、(社)佐賀県貿易協会、JETRO佐賀主催
第14回国際ビジネスマン養成講座
「トラブル事例から学ぶ～海外売買契約の実務」
於：佐賀市 はがくれ荘
6. 黒田 清宏 (愛媛 #233)
11/28
(社)愛媛県産業貿易振興協会主催
国際ビジネス支援講座
「輸出クレームの申立への対応・処理」
於：愛媛国際貿易センター (アイテムえひめ)
7. 鈴木貞雄 (静岡 #309)
11/15、22
ジェトロ静岡主催
貿易実務実践講座
於：富士市文化会館
12/18
静岡県商工労働部、ジェトロ静岡主催
「グッドデザインしずおか選定品パブリック見本市出展セミナー」
於：静岡県庁
8. 勝田 英紀 (大阪 #227)
10/6、13
大阪税関主催中等科研修
「貿易商務」
於：財務省税関研修所 大阪支所
10/27
財団法人しまね産業振興財団主催
貿易実務研修会
「国際取引マーケティング」
於：テクノアークしまね (松江市北陵町1番地)
9. 池崎元彦 (神奈川 #431)
11/17
川崎市商工会議所・産業人材育成協議会主催
国際ビジネス支援研修
「中国ビジネス」

- 於：川崎市産業振興会館
12/12
中小企業基盤整備機構主催
中小企業国際化支援アドバイス事業
「中国への退職技術者の採用と派遣」
於：同機構虎ノ門本部
12/2、22
OVTA（財）海外職業訓練協会主催
国際アドバイザー相談支援事業
「異文化理解と現地社員教育」
於：OVTA東京事務所
10. 柴田 篤（東京 #508）
11/17
SMBCコンサルティング主催
「貿易取引で知っておくべき税務の留意点」
於：大手町建物麹町ビルSMBCコンサルティングホール
11. 中村陽一（兵庫 #364）
11/1
京都商工会議所主催
「海外展示会出展準備」
於：京都商工会議所
12. 高橋伸二（兵庫 #420）
9/28
ジェトロ主催
「水産品の輸出、上海蟹、金華ハムの輸入について」
於：ジェトロ神戸貿易情報センター
13. 渡辺 肇幸（千葉 #115）
11/8
社団法人神奈川県商工会議所連合会主催
「アジア諸国の投資環境について」
於：神奈川県横浜市、波止場会館
14. 清水正明（#47）
10/3
佐賀県貿易協会主催
国際ビジネスマン養成講座
「貿易を始める前のチェックポイントと貿易の流れと仕組み」
於：佐賀市はがくれ会館
10/16
関東甲信越国税局主催
日本酒輸出促進シンポジウム
「日本酒の輸出手続と主要国の輸入規則」
於：埼玉県産業技術総合センター北部研究所
10/18、19
ジェトロ新潟主催
貿易実務講座（中上級編）
- 「貿易取引の代金決済」、「国際ロジスティック」の講義支援
於：新潟市ユニゾンプラザ
11/2
ジェトロ秋田主催
一日でわかる貿易実務講座
「貿易の仕組みと流れとロールプレイ」の支援
於：横手セントラルホテル
11/20
ジェトロ埼玉情報デスク、国際経済交流企業組合主催
貿易実務講座（初級編）のプログラム
「貿易施設現場の見学；東京税関と大井CY」の指導
12/2、3
ジェトロ鳥取、ジェトロ松江主催
体験型貿易実務セミナー
「貿易の仕組みと流れとロールプレイ」
於：米子商工会議所
15. 永野 靖夫（東京 #68）
11/15
しまね産業振興財団主催
「輸出の始め方」
於：島根県隠岐の島町
16. 澤田 圭輔（広島 #332）
9/20、27
産業振興機構主催
産業振興機構主催
17. 貫洞 孝彦（広島 #440）
島根県産業振興機構主催
英文契約書作製
高知県ジェトロ主催
英文契約書作製
18. 黒田 清宏（愛媛 #233）
9/26
愛媛県産業貿易振興機構主催
国際ビジネス支援講座・輸入実務
- 相談・アドバイス**
1. 大河内 竹雄（埼玉 #17）
11/22-25
ジェトロ貿易開発部アジア支援課主催
東京国際家具見本市（IFFT2006）内「ATPFゾーン」
共同展示会での貿易アドバイス
場所：東京ビッグサイト 東1ホール
2. 中村 陽一（兵庫 #364）
6/1-9/30
JETRO大阪本部にて 相談件数2,323

3. 中川 善博 (三重県 #67)
11/17、12/1
ジェトロ三重主催 巡回貿易相談
場所：四日市商工会議所
10/19、11/16、12/21
ジェトロ三重主催 巡回貿易相談
場所：伊勢商工会議所 松阪市産業振興センター
4. 清水 正明 (#47)
11/24、11/30、12/7
埼玉県海外取引アドバイザー制度による貿易・投資
相談
場所：さいたま市
5. 澤田 圭輔 (広島 #332)
11/22-24
東京国際家具見本市
貿易コンサルティング
6. 井上 照章 (広島 #331)
ジェトロ広島・輸出企業発掘専門家活動
場所：欧米、アジア
7. 長光 正明 (岡山 #153) 及び
瀧澤 富一 (岡山 #425)
7/5-21
ジェトロ岡山主催
定例貿易相談及び7都市巡回貿易相談
8. 小西 勝巳 (香川 #464)
11/22-24
ジェトロ個別貿易相談
香川・徳島・高知地区

執筆

1. 山岡 裕明 (奈良 #173)
2006/11
(財)しまね産業振興財団
ホームページ「国際経済コラム」上に
「技術輸出契約に伴う問題点とその解決策について」
を依頼により寄稿。
2. 勝田英紀 (大阪 #227)
2006/11
「リアルオプション法による減損対象資産の評価」
大川雅也氏との共著
生駒経済論叢 第4巻1号 59頁-76頁
3. 永野 靖夫 (東京 #68)
2006/10/27

「輸出のすすめ方」 ジェトロより出版

- 2006/11
「輸出に挑戦してみませんか」(前編)
「産業情報とちぎ」2006年11月号
(財)栃木県産業振興センター(月間情報誌)
- 2006/12
「輸出に挑戦してみませんか」(後編)
「産業情報とちぎ」2006年12月号
(財)栃木県産業振興センター(月間情報誌)

アドバイザーの現況(2006年12月31日現在)

ジェトロ認定貿易アドバイザー総数：446名
AIBA会員総数：330名(参加率：74.0%)
第1期 55名 (#1～#118) 第7期 47名 (#369～#433)
第2期 31名 (#119～#179) 第8期 16名 (#434～#453)
第3期 23名 (#180～#215) 第9期 24名 (#454～#484)
第4期 34名 (#216～#264) 第10期 17名 (#485～#504)
第5期 54名 (#265～#341) 第11期 7名 (#505～#515)
第6期 18名 (#342～#368) 第12期 4名 (#516～#520)
うちAIBANETに313名加入(加入率：94.8%)

支部・地域別会員数

北日本支部	17	5.2%
首都圏	190	57.6%
東海支部	26	7.9%
関西支部	52	15.8%
中国四国支部	17	5.2%
九州支部	20	6.1%
海外()	8	2.4%
合計	330	

海外駐在会員(7名)(敬称略)

#125	一柳光宏(チュニジア)	AIBANET加入
#163	福元雅英(香港)	加入
#234	小林公典(豪州メルボルン)	加入
#253	日口正敏(米国加州サクラメント)	加入
#343	大橋昌平(タイ、バンコック)	加入
#365	中根昌孝(中国深圳市)	加入
#459	荻田浩三(米国NC州ラレイ市)	加入

理事会議事録(抄録)

第62回首都圏理事会

日時：2006年10月21日(土) 15:00～17:00

場所：秋葉原事務所 2F会議室

出席者：在京理事7名及び監事1名(敬称略)

澤田、大谷、寺尾、網谷、井上、橋本、釜
堀の各理事、岩田監事

(川村理事から理事長宛の委任状受理)

1. 秋葉原事務所賃貸契約満了に伴う措置及び新規サブ

リース先検討の件

AIBAの秋葉原事務所はシステム・テクノ・サービス社（以下、STS社という）との一部転貸契約により借用していたが、同契約が10月末満了することに伴い、11月1日よりTPI社との直接契約に切り替えることになった。更に、新規サブリース先を公募することを決議した。

2. 経理事務委託先STS社との契約更改検討の件

STS社との経理事務委託契約が9月末に満了に伴い、契約を更改したが、その後、委託先の白井氏の健康状態が思わしくないため、新たな委託先を急遽、検討することになった。

3. 「受験対策セミナー」報告

事業推進Gの網谷理事よりAIBAの受験対策セミナーが概ね、成功裏に終わったことが報告された。受講者数は予定者数を超え、約70名となり、2会場にて開催された。受験者のアンケートでも講義内容は高く評価された。新しい試みだったが、提案型の営業としての意味も大きく、来年のセミナー開催へのノウハウを掴んだ意義も大きい。（なお、一次試験合格者は昨年5名、今年は23名とジェットロより発表された）

4. 首都圏勉強会の一部一般公開について

会員活性化Gの大谷理事から首都圏の勉強会をAIBA会員のみならず、一般市民にも有料で公開し、事業化したいとの提案があり、理事会として、前向きに検討することになった。

5. 「AIBAだより」の編集業務担当理事より担当変更の申し出の件

小河原理事は来春より民事調停委員に就任されることになり、「AIBAだより」の編集業務を担当する後任者を今から決めて欲しいとの申し出があった。

第63回AIBA定例理事会 議事録（抄録）

日時：2006年12月9日（土）16：30～18：00

10日（日）8：30～10：30

場所：東京商工会議所 蓼科フォーラム（研修室Bにて）

出席者：理事・監事 16名（敬称略）

澤田（敬）、大谷、網谷、川村、井上、足立、橋本、寺尾、小河原、釜堀、各理事
野本、岩田、各監事、畠山（北日本支部）、中川（東海支部）、門（関西支部）、各理事・支部長、澤田（圭）（中四国支部長代理として副支部長が出席）

1. 「AIBAだより」編集担当理事交代の件

パブリシティGの橋本理事より、「AIBAだより」の編集担当理事が小河原理事より川村理事に交代になった経緯について説明があり、小河原、川村、両理事より、それぞれ、交代の挨拶があった。

2. AIBA主要会議年間スケジュール決定の件

平成19年のAIBA主要会議について、年間スケジュールを下記の通り、決定した。

理事会の日程：3月10日 5月19日 7月14日 10月13日

総会の日程：6月23日（会場は仮予約済み）

理事会&忘年会：12月15日

（原則として、第2週の土曜日開催）

3. 2006年度JDP案件推進の件

事業推進Gの網谷理事より、AIBAが2006年度もジェットロからJDP案件を受注したとの報告があった。また、今回から指名入札制度へ移行したこと、会員の原稿料や専門委員への報酬、作業手順などについても詳細な説明があった。

4. 「アドバイザー受験対策セミナー」の成果報告

今回は支部長も出席したので、今回の成功に基づき来年、地方で開催する可能性や今後の実施方法が議論された。

5. AIBAビジネスの問題点と今後の展開への方策

ブレinstoーミング方式で各支部でのビジネスの現状や問題点が討議された。会議では、支部とジェットロ貿易情報センターとの連携、支部での活動の具体的な実例が披露された。そして、地場企業との密着によってAIBAの強みを活かす方策、セミナーのテーマが細分化されている傾向などが報告された。

6. AIBAの勉強会のあり方と今後の運動方針

平成19年2月の勉強会を有料一般公開として、テーマ、講師の全面改訂準備を進め、「ジェットロ後援」を標榜することの許可も取り付けていたが、担当理事の病気のため、今回は断念のやむなきに至った、と大谷理事より事情説明があった。

7. 経理事務委託先並びに税務顧問税理士変更の件

当面、AIBAの経理業務を従来のシステム・テクノ・サービスより中村眞右税理士事務所（埼玉県蓮田市）に委託することになった。（来年4月以降は再検討）

8. 秋葉原事務所サブリース先決定の件

秋葉原事務所のサブリース先を首都圏在住のAIBA会員から公募したが、芝田政之会員（#355）に決定したことが事務局より報告された。

<編集後記>

会員各位は紅葉を楽しまれたでしょうか？後半は強風、豪雨の日多く、地球環境の激変を思い知らされました。貿易環境の変化も著しく今号では、会員の成功例、失敗談、打開のヒントが随所にみられます。現場の体験の披露は貴重です。アドバイザー諸兄姉の（品格ある行動）は、知る人ぞ知るAIBAの誇りです。編集の革新に貢献された小河原会員が、ある要職に就かれ、今後は川村・橋本が担当します。先日長野県松本市を訪れた際、タブロイド25頁の（市民タイムズ）が30数年、日刊を続けている事を知り、刊行当事者と周囲の強い継続的支援あってこそその成功例を見た思いでした。AIBAだよりも小さいが存在感ある刊行物になりつつあります。会員各位の、さらなる参加、支援に期待します。（K.H.）

「貿易のいい参考書は？」

と聞かれたとき、

「貿易セミナーのテキスト」

を探するとき、

ぜひご検討ください。

書店の店頭でご覧ください。
貿易取引のしくみを100のテーマで、
ことばと図解で説明しました。

「**図解**
よくわかる これからの貿易」

A 5判 231ページ

著者：高橋 靖治（貿易アドバイザーNo.196）
出版：同文館出版株式会社
価格：1,785円（税込み）

ジェットロより出版

「**輸出のすすめ方**」

平成18年10月初版発行

「**輸入のすすめ方**」

平成17年12月第4版発行

著者：永野 靖夫

<http://www.bouekitenbou.com>

『**宝飾品なんでも鑑定と買取り**』

1974年 米国宝石学会ロスアンゼルス本校卒業

1997年 ジェットロ認定貿易アドバイザー

どんなに古い、壊れた、小さい物でも大丈夫
金、プラチナ、ダイヤモンド、その他各種宝石
秘密厳守、鑑定鑑別のみ無料

宝石の杜

仙台市青葉区立町27-5 不二ビル1F

TEL/FAX: 022-267-9390

kuro@gold777.jp

<http://www.gold777.jp>